



あて字は日本人の伝統!?

なかなか素直に読ませてもらえない、オンリーワンな名前“キラキラネーム”。子に対する親の思いは変わらねど…これ、読める？

- ① 風凜 ② 一二三 ③ 剣 ④ 結

キラキラネームはあて字の百花繚乱。しかしこの傾向は最近の現象なのか？いやいや、どうもそうではなさそう。

中国から伝来した漢字には、日本独自のものをあらわす字は当然ながらありません。そこで日本人が作った漢字が、日本固有の“国字”として現在まで使われています。

たとえば、はたらくとは人が体を動かすことだから「働」。ではこれは？

十：【えだなし】漢数字の十でなく、木の八がないところから

糶：【せんちめーとる】米はメートル、厘はセンチをあらわす

辻：【すべる】滑るに同じ。一が二になると【ころぶ】と読む

読みにあわせていろいろな字を考えたり当てはめるのは、昔から日本人がやってきたことですよ。 (参考：『国字の辞典』)

- ①プリン ②ワルツ(親の趣味がダンス) ③ソロ(ワンピースより) ④リボン

イエローラベルって、なあに？

図書館のたたみスペース横のコーナーに行ったことはありますか？そこには、中学生以上、大人未満の方々にオススメしたい本が並べられています。本の背表紙のラベルは“黄色”。ややサブカルチャー的、でも実は人生で役に立つ本もちらほらあったりして・・・。
ぜひ手にとってみてね★

■■■ 編集後記 ■■■

名前が嫌で変えたいと思ったら、15歳以上なら裁判所に自分で訴えることができます。しかしOKがでることは滅多にありません。そこで漢字はそのまま読みを変えて通称として使い続ければ、将来OKの可能性があるので、基本名前とは一生の付き合いになるので、名づけは慎重にしたいものですね。

YELLOW LABEL

イエローラベル通信
spring

鹿島市民図書館 2018.3.15発行 vol.68



◇新着本◇

『キズナキス』

梨屋アリエ:著 静山社

もしも、他人の心が覗けたら、不安はなくなるだろうか。もしも、心を完全に閉ざすことができたなら、他人に傷つけられることもなくなるだろうか。

少女たちの抱える孤独と閉塞感をリアルにとらえた長編小説。この物語に描かれているのは、もうひとつの現実。



『笑う化石の謎』

ピッパ・グッドハート:著

千葉茂樹:訳 あすなろ書房

ケンブリッジ郊外のグランチェスター村で暮らすビルは、13歳。この村の地下深くに、新たな肥料「コプロライト」が眠っていることがわかり、村は活気づくが、それは同時に思いもかけぬできごとを引き起こし…。19世紀後半に生きた、名もなき人々をいきいきと描いた物語。



編集・発行:鹿島市民図書館 TEL0954-63-4343

図書館HP <http://www.library.city.kashima.saga.jp/>

◇新着本◇



『食べるってどんなこと?』

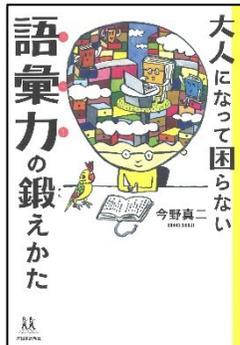
古沢広祐:著 平凡社

私たちはどんなものを食べている?食べ物はどこから来る?食べないとなぜ死ぬの?日本の食糧自給率はなぜ低い?食べ物の未来はどうなる?日常の疑問にはじまり、生きる基本「食」を根っこから考える。

『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎:著 光文社

人類を救うため、そして「バッタに食べられたい」という自身の夢を叶えるために。昆虫学者である著者が、バッタ被害を食い止めるため単身サハラ砂漠に乗り込み、バッタと大人の事情を相手に繰り広げた死闘の日々を綴る。



『大人になって困らない語彙力の鍛えかた』

今野真二:著 河出書房新社

必要な言葉が「すっと」でてくる!
「ひも付けをする」「数え方に注目する」
「俗語をてがかりにする」「名作を書き換える」
など、「語彙」を増やす方法をイラストとともに楽しく紹介する。

ヤングコーナーに新着本は毎週届いています。
こちらに紹介している本以外もあるので、
のぞいてみてくださいね!



紹介本の情報の全部もしくは一部の複製(コピー)を禁止します。
本の表紙掲載は、出版社の許諾を得ています。

ヤングコーナー

H29年度 貸出ベスト(小説編)

1. 『異世界居酒屋「のぶ」』 シリーズ

蟬川夏哉:著 宝島社

2. 『忘却探偵 掟上今日子』 シリーズ

西尾維新:著 講談社

3. 『君の名は。』

新海誠:作 KADOKAWA

4. 『本好きの下剋上』 シリーズ

香月美夜:著 TOブックス

5. 『5分後に意外な結末』 シリーズ

桃戸ハル:編著 学研プラス

6. 『八男って、それはないでしょう!』 シリーズ

Y.A:著 KADOKAWA

7. 『ビブリア古書堂の事件手帖』 シリーズ

三上延:著 KADOKAWA

8. 『異世界転生騒動記』 シリーズ

高見梁川:著 アルファポリス

9. 『神様の御用人』 シリーズ

浅葉なつ:著 KADOKAWA

10. 『薬屋のひとりごと』 シリーズ

日向夏:著 主婦の友社